対象年度	令和 7年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	避難施設・備蓄体制整備事業						予算事業名	避難施設・備蓄体制整備事業費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	災害対策基本法					
			09	01	05	06	経常経費							
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 安全に暮らせるまちづくり 防災対策の充実						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	防災安全課 消防防災係						
事業期間	継続 (令和 3年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
避難所における良好な生活環境の整備並びに避難所における通信環境等の整備を行う。						令和元年東日本台風の災害対応において、避難所での情報発信不足や備蓄倉庫の分散化による備蓄運搬の支障が生じた。また、新型コロナウイルス感染症により、避難所での感染防止のためのスペースの確保が必要となった。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
<ul style="list-style-type: none"> 避難所戸別受信機関係 避難所戸別受信機購入 避難所Wi-Fi関係 避難所Wi-Fi保守点検 						避難所、市民 【事業をとりまく環境の変化】 令和元年東日本台風では、避難所への情報伝達手段が整備されておらず、避難者に情報伝達ができなかった。また、新型コロナウイルス感染症の防止のための避難スペースの確保が必須となり、そのための間仕切り等の資機材確保及び保管場所の確保が必要となった。								
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 避難所看板整備 戸別受信機購入 避難所Wi-Fi保守点検委託 				<ul style="list-style-type: none"> 戸別受信機購入 避難所Wi-Fi保守点検委託 				<ul style="list-style-type: none"> 戸別受信機購入 避難所Wi-Fi保守点検委託 						

■事業費

		R05年度	R06年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	921	686			
歳入計 (千円)		921	686			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	10 需用費	0	231			
	12 委託料	40	40			
	14 工事請負費	881	415			
歳出計 (千円) (A)		921	686			
伸び率 (%)			-25.51			
備考	総合計画73ページ 予算書167ページ					

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	戸別受信機用アンテナ設置避難所数	箇所	目標	3.00	3.00	0.00
	防災行政無線の戸別受信機用アンテナ設置避難所の数		実績	3.00	0.00	0.00
	感染症対策整備済避難所数	箇所	目標	25.00	25.00	25.00
	パーテーションや間仕切りテントなど、感染症対策を行った避難所数		実績	26.00	0.00	0.00
成果 指標	避難所用戸別受信機用アンテナ設置率	パーセント	目標	100.00	100.00	0.00
	25箇所の避難所のうち、戸別受信機用アンテナ設置済避難所の割合		実績	76.00	0.00	0.00
	小中学校避難所Wi-Fi設置率	パーセント	目標	100.00	100.00	0.00
	体育館に避難所用Wi-Fiを設置した小中学校の割合		実績	100.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	避難所の情報提供整備は、良好な避難所環境を維持するため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	災害時の避難所整備は市が行うべき業務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	停電や外部の通信環境の遮断にも強い個別受信機の外部アンテナの設置、県が協定を締結している防災アプリや結城市公式LINEアカウントからの情報伝達手段としての避難所Wi-Fi整備であり妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	個別受信機はすでに整備が終了している防災行政無線を使用するので、コスト面については安価である。避難所Wi-Fiについては、学校側の通信網の利用又は災害時のみ通信費がかかるように維持コストを抑えるため、コストは最小限に抑えられる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	避難所にくる市民を対象としているため、受益者に偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	令和2年度から避難施設の整備を行っており、計画的に整備を進めていく。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画通り工事は進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
小中学校のWi-Fi整備は完了しており、今後は定期的な保守管理に務める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
個別受信機及びWi-Fi環境管理を今後も続けていく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 </p> <p>方向性の具体的内容 災害発生時に市民に対する災害情報の伝達は、逃げ遅れ防止や避難先の確保を行ううえで重要である。また、避難所において、行政からの情報を収集するうえで、施設の環境を整備することは必須であるため、計画的に整備していく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 </p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。</p>